

わたしの 歩んだ道 井原 慶子さん



プロフィール

国際レーシング・ドライバー。市内在住。F3、世界選手権など世界30か国を転戦。マカオ・グランプリでは大会史上女性初の表彰台に上った。現在は講演を通して子どもたちに自身の経験を伝えるほか、英語教育、交通社会環境の改善などにも力を注いでいる。

どんな子どもでしたか？

小学生のころは、おとなしい子で、特にならた夢はありませんでした。が、毎日外で遊ぶことが好きでした。ピアノ、クラシックバレエ、水泳、絵画、書道などを習っていて、何にも興味を持って取り組みました。

レーサーへの夢のきっかけは？

大学在学中にレースクイーンの仕事で初めてサーキットを訪れ、それまでの自分の人生とは次元の違う衝撃を受

けました。カーレースは常に生死をかけて戦っていて、全てが非日常の世界で、ものすごい情熱が伝わってきました。その瞬間レーサーになると決意しました。

崖っぷちの覚悟

子どものころから英才教育を受けた選手と違い、お金、知識、経験、体力全てなし、運転免許すらない。他人より遅れた夢へのスタートでしたが、それでもあきらめず、ついに二十五歳でレースデビューを果たしました。

レーサーになってからも、年齢や性別、国籍など、次から次へと壁にぶち当たりました。しかし、毎日

できる限りの努力を続け、自分の弱点を克服し、壁を乗り越えました。

プロの厳しい世界では三六五日のうち本当に嬉しいことなんて二日くらいしかない。「崖っぷちの覚悟」で日々を真剣に生きないと大きなことは達成できません。

情熱が不可能を可能にする

一流のレースチームは、みんな情熱を持って最善の努力をしていて、情熱が伝わりあっています。やる気がある人には、やる気のない人をやる気にさせるパワーがあるし、情熱を持つ人同士が結びつけば、十倍、百倍のパワーになって、不可能が可能になります。



メッセージ Message

夢をかなえるためには

どんな環境にも順応する。人や文化、考え方の違いを理解し、違いを認め、自分で壁をつくらないことです。

子どものときに、勉強や遊びを一生懸命にやっておくことは、将来必ずプラスになります。

一度きりの人生。本当にやりたいことにぜひチャレンジしてもらいたいです。思いつく夢は必ず果たせます。

